

高断熱

& 太陽光
パネル

エコな住まいは、

これからの
時代の
家づくり

コストメリットも期待大?!

高断熱で太陽光パネル等を備えたエコな住まいは、
お施主様にとっても数多くのメリットがあります。

中でも、家計に直結する、コスト面のメリットは大きな魅力です。

「地球環境にやさしい住まい」は、「お財布にも優しい住まい」でもあるのです。

3つの
POINT

建築時に補助金を活用できる!



東京都では、太陽光パネルや蓄電池等に関する様々な支援制度があります。さらに、環境性能に関する一定の基準をクリアすれば、「東京ゼロエミ住宅」や国などの補助金も活用することができます。

住宅ローン減税の対象となる!



「低炭素住宅」「ZEH基準」など環境性能に関する一定の基準に対応する住まいは、住宅ローン控除の対象となります。さらに、子どもがいる世帯は、控除額の対象となる借入限度額が拡充されます。※控除には条件等があります。

光熱費(ランニングコスト)を削減できる!



高い気密・断熱性能の住まいは、僅かなエアコンの稼働で、年中快適に過ごすことができます。さらに、太陽光パネルがあれば、日々の光熱費も抑えることができ、生涯収支の観点でランニングコストの削減にもつながります。

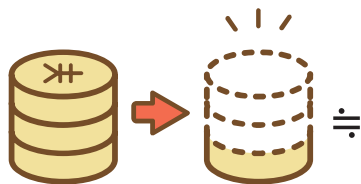


東京都では、
2025年4月から、
太陽光パネルの設置や
断熱・省エネ性能の確保等を
大手ハウスメーカー等に求める
新しい制度が始まり、エコな住まいが
増えていきます!



地球にもお財布にも優しい

太陽光発電で電気料金を削減



毎月の電気代
1.2万円程度

毎月約7,700円
削減!

年間で、
約92,400円
削減!

年間電気代の
削減イメージ

※【年間電気代削減額の試算条件】東京都区部の月平均の電気使用量=約345kWh(「総務省家計調査2023」より)345kWhの電気料金=約1.2万円(「東京電力従量料金単価」から算出。燃料費調整単価は令和6(2024)年8月分を採用)売電価格=16円/kWh(「資源エネルギー庁HP」より)設置容量4kWの太陽光パネルの月平均発電量333kWh(「太陽光発電協会HP」より)売電:自家消費=6(200kWh):4(133kWh)で試算→売電3,200円(@16円/kWh)、自家消費4,500円(@34円/kWh)より、月合計削減額が7,700円となり、年間で92,400円の削減となる

東京ゼロエミ住宅

省エネルギー対策を推進する 東京都独自の補助金制度

東京都では、都内のエネルギー消費量の約3割を占める家庭部門の省エネルギー対策を推進し、令和元年度から「東京ゼロエミ住宅」を新築した建築主に対し、その費用の一部を助成する事業を実施しています。

《たくさんのメリットがあります》



最大で
240万円の助成



太陽光・蓄電池に
対する補助もあり



不動産取得税の
減免も可能

問い合わせ先は、クール・ネット東京(03-5990-5169)

